

別表2（第18条関係）

夏季休暇

1 付与日数

- (1) 職員、任期付職員及びワイドキャリアスタッフ職員のうちフルタイム型職員又は31時間型職員若しくは時間型勤務職員のうち週5日勤務する職員

| 勤務形態 | 付与日数 |
|-----------------------------------|------|
| 1日3時間55分×5日（週19時間35分） | 5日 |
| 1日4時間55分×5日（週24時間30分） | 5日 |
| 1日7時間45分×3日（週23時間15分） | 3日 |
| 1日7時間45分×2日＋1日3時間55分×1日（週19時間25分） | 3日 |

- (2) ワイドキャリアスタッフ職員のうち31時間型職員又は時間型職員のうち週4日勤務する職員

| 勤務形態 | 付与日数 |
|-----------------------------------|------|
| 1日3時間55分×5日（週19時間35分） | 4日 |
| 1日4時間55分×5日（週24時間30分） | 4日 |
| 1日7時間45分×3日（週23時間15分） | 3日 |
| 1日7時間45分×2日＋1日3時間55分×1日（週19時間25分） | 3日 |

- (3) 7月から9月までの期間内に勤務形態を変更した場合

変更後の勤務形態の1週間ごとの勤務日数と、変更前の勤務形態の1週間ごとの勤務日（同一年度に複数回変更している場合は、最も1週間あたりの勤務日数が多いもの）を比較し、変更後の勤務日数が上回る場合に限り、調整を行う。

* 計算方法

$$\text{残日数} = \frac{\text{勤務形態変更前の残日数} \times \text{変更後の1週間あたりの勤務日数}}{\text{勤務形態変更前の1週間あたりの勤務日数}}$$

※ 一日未満の端数は四捨五入する。

* 計算方法（第3条第3項第四号の場合）

$$\text{残日数} = \frac{\text{勤務形態変更前の残時間数} \times \text{変更後の1週間あたりの勤務時間数}}{\text{勤務形態変更前の1週間あたりの勤務時間数}}$$

※ 一日未満の端数は四捨五入する。